

米国 前月比マイナス幅は89年以来最大（08年10月輸入物価）

発表日：2008年11月17日（月）

～原油価格の低下加速が大きく影響～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

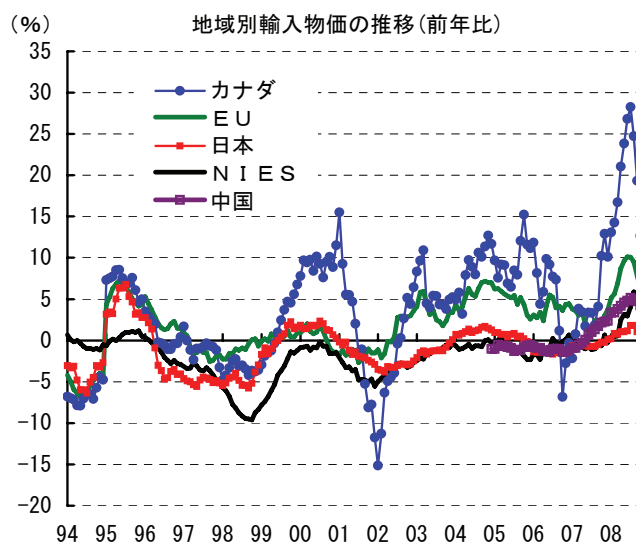
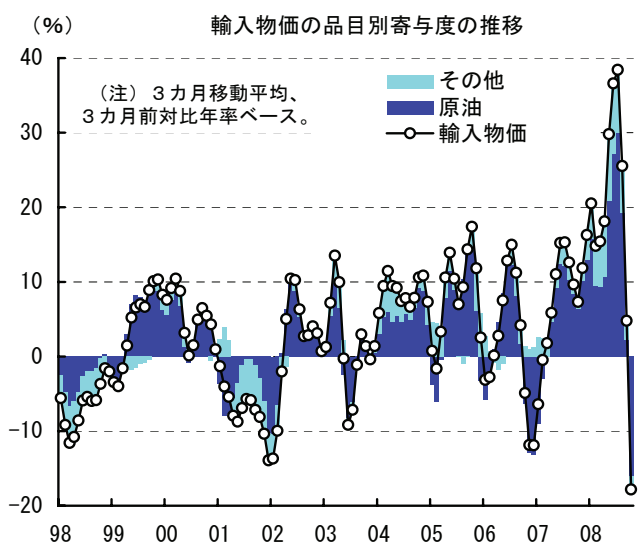
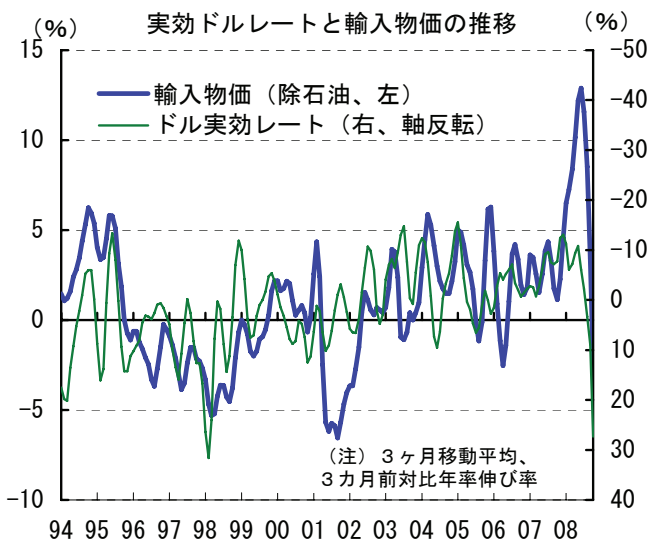
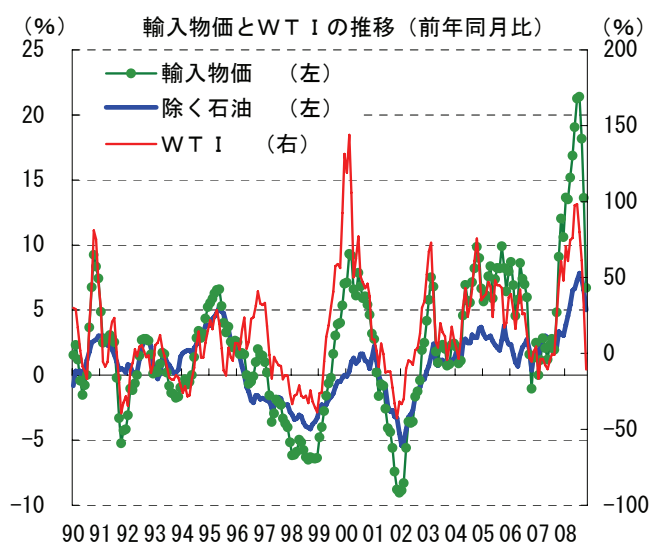
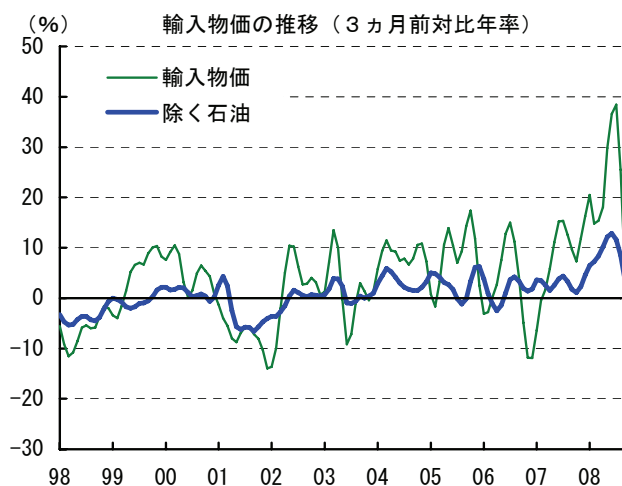
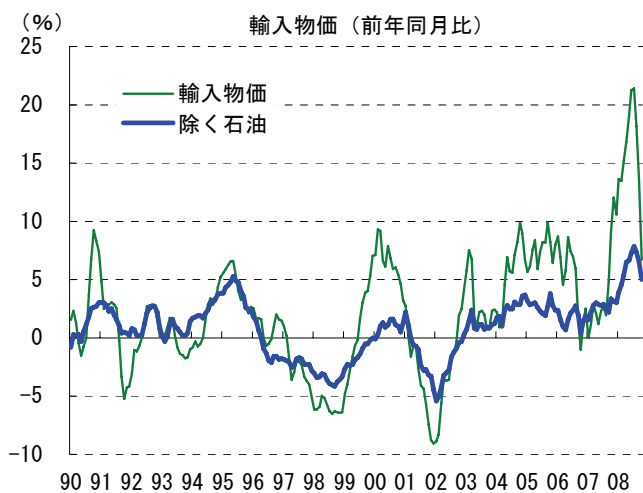
- 08年10月の輸入物価は前月比▲4.7%と前月同▲3.3%からマイナス幅が拡大し、事前予想の同▲4.0%も下回る大幅な低下となった。前月比の下げ幅としては88年12月に月次の数値が発表されて以来、最大となる。石油・同製品が前月比▲16.7%（寄与度▲4.03%）と大幅に低下した影響が大きい。石油を除いた輸入物価も、世界的な景気減速による需給緩和期待から国際商品市況が低下を続けていることから、同▲0.9%と3ヵ月連続で前月比マイナスとなった。また、為替面でも名目実行レートが3ヵ月移動平均・3ヵ月前月比年率で8月+3.3%、9月+9.0%、10月+27.3%とドル高基調が続いていることも、輸入物価の押し下げに寄与している。
- 輸入財の分類別にみると、飲食料は前月比▲1.6%と国際的な取引価格低下の影響で、前月同▲1.5%からマイナス幅を拡大した。工業用原料は同▲11.0%と石油・同製品の価格下落が加速したため、前月同▲7.3%からマイナス幅を拡大した。資本財は同▲0.2%と発電装置、機械価格が低下し、前月同0.0%からマイナスとなった。
- 輸入元地域別の輸入物価は、原油価格の下落によりカナダ、メキシコ、EU、中東が、それぞれ前月比▲4.4%、▲4.9%、▲1.3%、▲14.2%と前月からマイナス幅を拡大したが、前年同月比では+12.7%、+7.6%、+6.3%、+5.8%と依然として高い水準にある。NIESはハイテク関連製品価格低下、為替の減価基調の影響で前月比▲0.9%（前月同▲0.7%）と2ヶ月連続の前月比マイナス。中国は同▲0.3%（同0.0%）と前月比では07年1月以来のマイナスとなった。コンピューター・電気機器の価格低下の影響とみられる。
- 今後の輸入物価だが、世界的な景気減速が鮮明になる中で需給緩和期待からこの先も国際的な商品価格は低下するとみられ、米新政権による景気刺激策の実行などにより景気回復期待が高まる09年春先までは前月比でマイナスが続くと予想される。

輸出入物価（U. S. Import and Export Price Indexes）

輸出・輸入物価 (U.S. Import and Export Price Indexes)										
	輸出物価	輸入物価								実効ドルレート
			除石油	工業用原料	石油	資本財	自動車	消費財	飲食料	
08/01	+1.2	+1.5	+0.7	+3.3	+4.2	▲0.3	+0.3	+0.5	+2.8	▲0.8
08/02	+0.9	+0.2	+0.6	+0.4	▲1.3	+0.1	+0.1	+0.4	▲0.2	▲0.8
08/03	+1.6	+3.1	+1.1	+7.1	+10.1	+0.2	+0.2	+0.5	+2.9	▲2.0
08/04	+0.5	+2.8	+1.3	+6.1	+8.1	+0.9	+0.4	+0.6	+1.3	▲0.3
08/05	+0.3	+2.8	+0.7	+6.6	+9.7	+0.3	+0.0	+0.2	+0.9	+0.4
08/06	+1.0	+3.0	+0.9	+6.8	+9.2	▲0.1	+0.1	+0.1	+1.9	+0.3
08/07	+1.5	+1.4	+0.6	+2.7	+3.3	+0.2	+0.2	+0.2	+1.4	▲0.7
08/08	▲1.6	▲3.0	▲0.4	▲6.8	▲9.7	+0.0	+0.2	+0.1	+0.5	+2.7
08/09	▲0.8	▲3.3	▲0.9	▲7.3	▲10.2	+0.0	▲0.1	▲0.1	▲1.5	+2.4
08/10	▲1.9	▲4.7	▲0.9	▲11.0	▲16.7	▲0.2	+0.1	+0.1	▲1.6	+6.6

（出所）労働省（Department of Labor）

（注）未季調、前月比、%。実効レートはFRB算出ベース。



(出所) 米労働省、Reuter EcoWinより当社作成